

# ① システムの新規導入

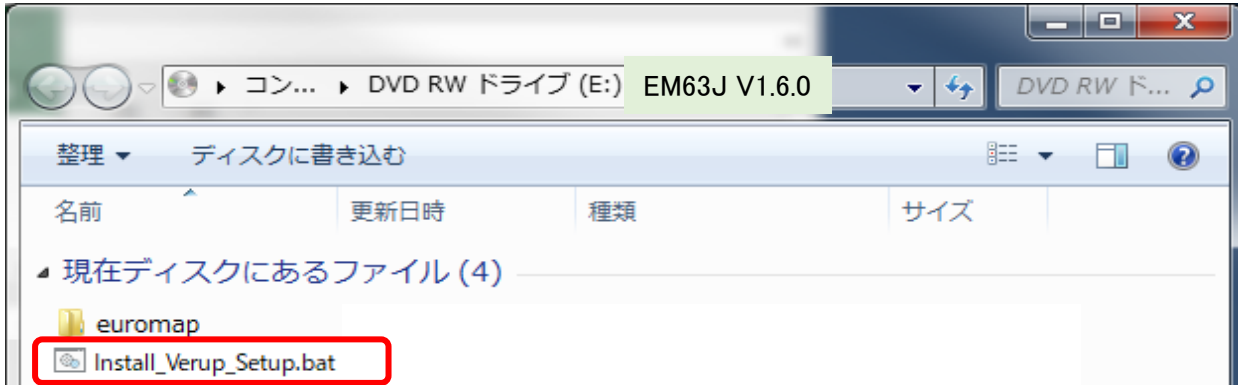
DVD トップの Install\_Verup\_Setup.bat を実行します。

新規インストール時にも、同じ Install\_Verup\_Setup.bat を使用します。

2018/04/23 新規

2019/12/28 改定

2021/01/08 改定



以下、Install\_Verup\_Setup.bat 内の処理内容を記載します。(自動的に連続処理されます)

【1】システムの停止 (不要です)

【2】既存のeuromap フォルダの退避 (不要です)

【3】新規システムのファイルコピー

c:\euromap フォルダがなければ、新規インストールと判断して、DVDからファイルコピーが実行されます。

【スタートメニュー登録】

①StartProcess.bat のリンクを、スタートメニューにコピーします。

Windows を再起動したときに、システムが自動で立ち上がるようになります。

【日次、月次処理の外部PC登録】

月次バッチのデータは、自身のPCに保管されます。

他のPC/サーバーにコピーする場合は、C:\euromap\up\bin\em63jsetup.bat にて  
BACKUP\_SERVER\_NAME を正式な値に書き換え、コメントを外します。

rem 別サーバーへのバックアップコピーが必要な場合のみ設定します。

rem set TGT DIR=%BACKUP\_SERVER\_NAME%\dbbkup

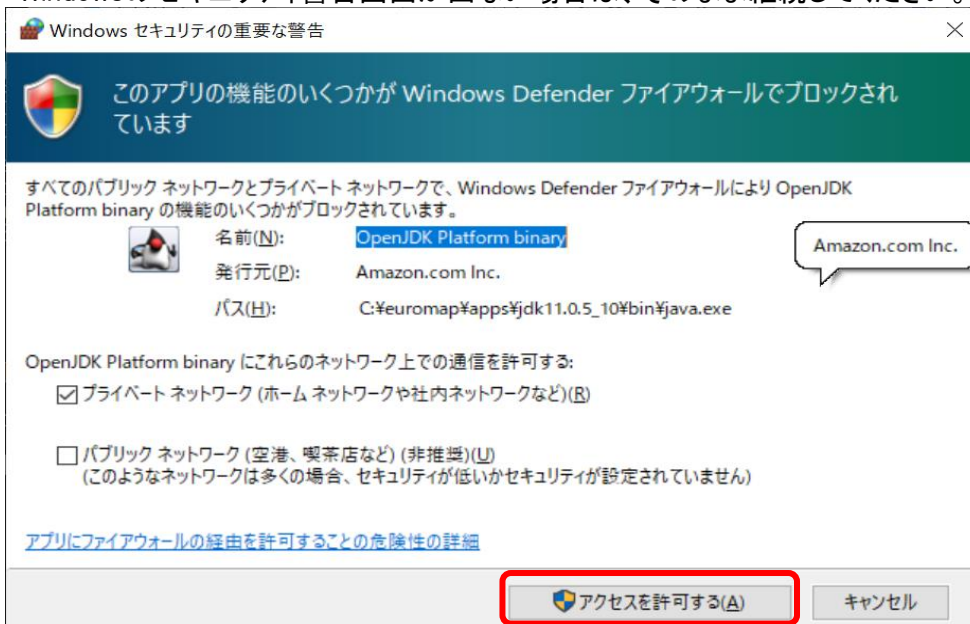
サーバー名を書いて  
コメントを外す

【4】Javaの新規実行確認

Javaのバージョンがアップすると、Windowsのセキュリティ警告が出ます。

一旦、これを承認しないと、以下の処理が実行できません。

Windowsのセキュリティ警告画面が出ない場合は、そのまま継続してください。

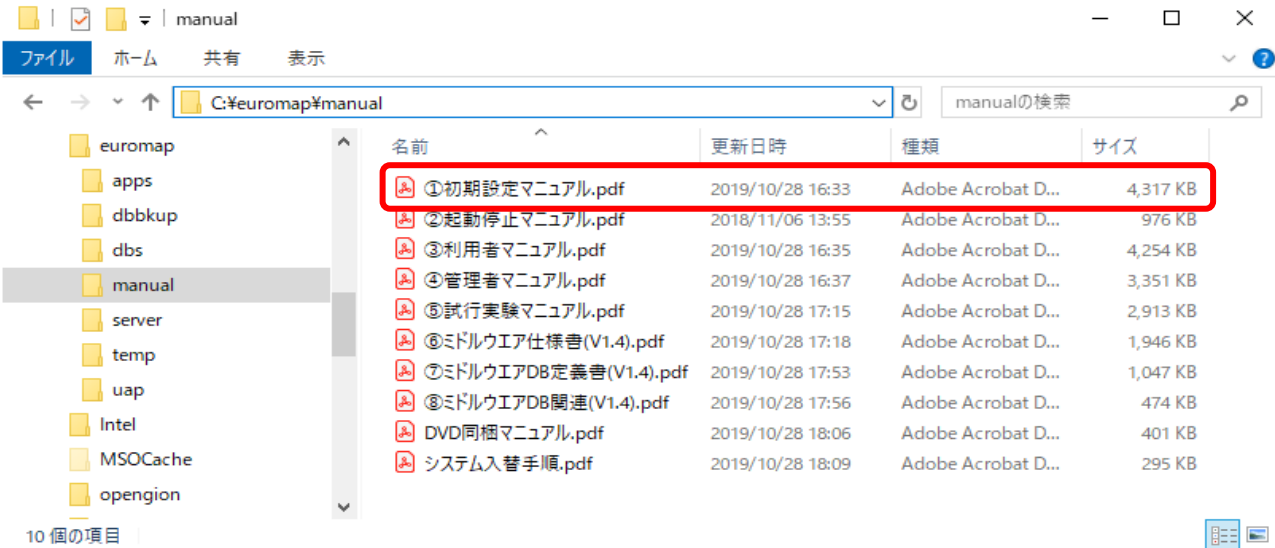


【5】旧データの移行 (不要です)

【6】バージョンアップ完了

コマンドプロンプト画面上にエラーが発生していないか確認の上、終了してください。

以下、初期設定マニュアルに従って、システムの設定を行う必要があります。



※ 上記ファイル構成は参考です。Ver 等若干の違いがあります。

## ② システム入替手順（既存システムの更新）

2018/04/23 新規

2019/12/28 改定

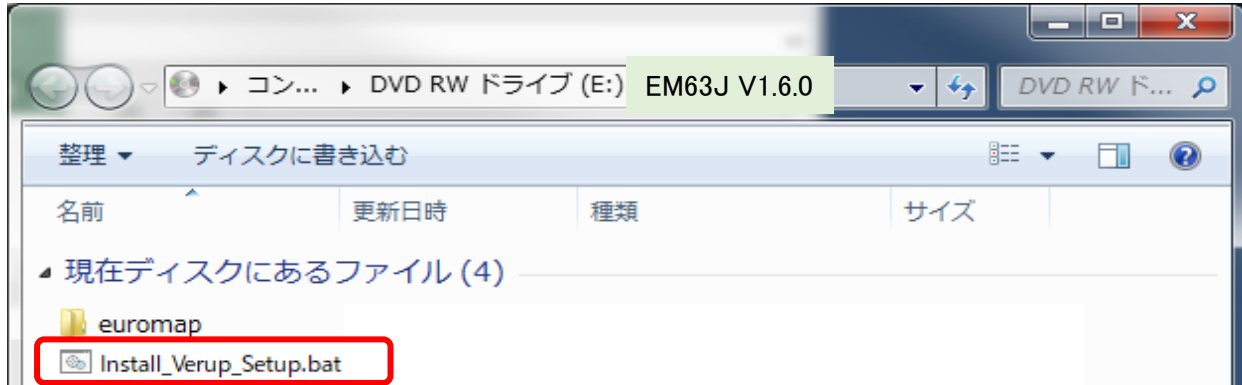
2021/01/08 改定

DVD トップの **Install\_Verup\_Setup.bat** を実行します。

一連のシステム入れ替えを一括して実行します。

既存のデータ量に応じて、処理時間が結構かかる場合もありますので、ご注意ください。

また、既存のデータを退避後、データコピーを行いますので、ディスクの空き容量を十分確保しておいてください。（目安としては、既存のデータ量の3倍必要です）



以下、Install\_Verup\_Setup.bat 内の処理内容を記載します。（自動的に連続処理されます）

### 【1】システムの停止

システムの入替え時には、システムを停止する必要があります。

Install\_Verup\_Setup.bat 内でも、システム停止のコマンドを発行していますが、通常の停止手順（⑨StopProcess.bat）で止めていただいても構いません。

### 【2】既存のeuromap フォルダの退避

Install\_Verup\_Setup.bat を実行すると、既存のシステムを、C:\%euromap\_bk5 に移動します。

※ C:\%euromap\_bk5 の **\_bk5** が重要です。

この、C:\%euromap\_bk5 の旧データを、新システムにデータベース接続してコピーするためです。

また、C:\%euromap\_bk5 フォルダが存在している状態で、Install\_Verup\_Setup.bat を実行すると

データ移行のみを実行します。不測の事態が発生した場合は、処理の進捗に応じた対応が

必要ですので、実行時のログ（コマンドプロンプト画面）のコピー（ハードコピーではなく

すべて選択のテキストコピー）を保存したうえで、お問い合わせください。

### 【3】新規システムのファイルコピー

DVD から、最新システムをコピーします。

**日次、月次バッチは廃止され、Tomcat起動時に予約されます。**

旧システムでカスタマイズ（別サーバーへのバックアップ処理等）されていた場合は、

【システム新規導入】の【3】新規システムのファイルコピー【日次、月次処理の外部PC登録】を参考に、再登録願います。

### 【4】Javaの新規実行確認 （システム新規導入 参照）

Javaのバージョンがアップすると、Windowsのセキュリティ警告が出ます。

一旦、これを承認しないと、以下の処理が実行できません。

Windowsのセキュリティ警告画面が出ない場合は、そのまま継続してください。

### 【5】旧データの移行

既存のデータを、Ver 1.6.0 形式のデータベースに移します。

**データ量が多い場合は、非常に時間が掛かります。**

止む追えず、途中でデータ移行を停止してしまった場合は、キー重複の為継続して登録できません。

C:\%euromap%\dbs のみ削除後、CD-R より、その箇所のみコピーして、再度 Install\_Verup\_Setup.bat を実行してください。

### 【6】バージョンアップ完了

コマンドプロンプト画面上にエラーが発生していないか確認の上、終了してください。

この時点ではシステムはまだ起動していませんので、通常の方法（①StartProcess.bat）で起動してください。

# Ver1.6.0 の注意事項

2021/01/08 新規

- ① このバージョンでは、  
日次パッチ、月次パッチをTomcat内部に取り込んでいます。  
データベースのインデックスを若干見直しています。  
コマンド種別 WDT を保留にしました。ACT を復活しました(初期は保留)  
  
それ以外は、ver1.5.0 と同等です。
- ② システムの入れ替えは、既存システムをeuromap\_bk5 に移動し、新システムを導入後、データのみコピー登録します。  
そのため  
コマンド予約 で、コマンドの追加、変更、削除をされた場合  
コードマスタ編集 で、データ変更された場合  
データが反映されていませんので、再度、登録する必要があります。  
不明な場合は、お問い合わせください。  
  
※ メーカー独自項目設定 はデータベース移行時に反映されます。  
通常、コマンド予約やコードマスタ編集は行いませんので、問題なく移行できると思います。

# Ver1.5.0 の注意事項

2020/04/01 新規

- ① このバージョンでは、  
**成形条件収集ソフト(13\_MainProcess.bat)を、Tomcat内部に取り込む  
サービス起動のインストール、開始、停止のパッチ提供**  
を行っています。

それ以外は、ver1.4.2 と同等です。

- ② システムの入れ替えは、既存システムをeuromap\_bk4 に移動し、新システムを導入後、データのみ  
コピー登録します。

そのため

**コマンド予約 で、コマンドの追加、変更、削除をされた場合**

**コマンド編集 で、データ変更された場合**

データが反映されていませんので、再度、登録する必要があります。

不明な場合は、お問い合わせください。

# Ver1.4.2 の注意事項

2019/11/01 新規

2019/12/28 改定

- ① このバージョンでは、  
**住友重機械工業様の成形機直接接続版対応**  
**ファナック様旧成形条件対応**  
 を行っています。  
 上記の成形機に該当する場合は、Ver1.4.0 以上のシステムが必要です。  
 不明な場合は、各成形機メーカー様にご確認ください。
- ② システムの入れ替えは、既存システムをeuromap\_bk3 に移動し、新システムを導入後、データのみ  
 コピー登録します。  
 そのため  
**コマンド予約で、コマンドの追加、変更、削除をされた場合**  
 データが反映されていませんので、再度、登録する必要があります。  
 不明な場合は、お問い合わせください。
- ③ 新システムより、**月別の履歴バックアップデータベースを作成**します。これは、ある程度現在のデータを削除  
 した場合でも、そのデータを閲覧(検索のみ)できるデータベースを月ごとに作成する機能を追加しました。  
 過去データの検索では、  
 現在データを削除した、最終年月以前を検索したときに、月単位に過去のデータを表示可能です。  
 現在データを削除しない場合でも、毎月の過去データを作成し続けます。

現在データの削除は、【DB管理】バックアップ画面の 現在データ削除 リンクから行います。  
 指定の年月以前のデータを物理削除します。

注意点として、日次バッチ、月次バッチを新しくしているため、旧日次バッチ、旧月次バッチの内容が  
**反映されていません。**

C:\%euromap%\server\%bat 以下の**21\_eu63\_day.bat**と**22\_eu63\_month.bat** を、直接変更している場合は、  
 C:\%euromap%\uap\bin\%em63jsetup.bat に、その内容を追記する必要があります。 (改定)  
 このバッチは、タスクスケジューラに自動設定されています。install 時のユーザーで運用してください。

- ④ コマンド予約の **ウォッチドッグ(WDTコマンド)**を保留から受付に格上げしました。  
 このコマンドが実行されても、LOGやDATは、履歴テーブルに登録されませんが、1分間隔で成型機の状態を  
 問合せ、機械マスタの下記項目を更新します。

応答日時、製品特定キーワード、操作状態、設定ショット数、実測ショット数、設定サイクルタイム、実測サイクルタイム

- ⑤ 温湿度を管理していた **環境情報テーブル(T\_EnvDataLog)**を廃止し、デバイス履歴テーブル(T\_DeviceHist)で  
 管理することになりました。  
 データはシステム入れ替えバッチでコピーされます。画面も、今までと同様に表示、登録可能です。

ただし、環境情報テーブル(T\_EnvDataLog)にデータを登録する**コマンド(TEM)**は廃止されました。

代わりに、デバイス履歴テーブル(T\_DeviceHist)にデータを登録する**コマンド(DEV)**が追加されました。  
 TEMコマンドを使用して温湿度登録をされていた場合は、DEVコマンドに変更する必要があります。  
**(コマンドフォーマットに互換性はありませんので、ご注意ください)**

- ⑥ labo 関連のテーブルの**統廃合**が行われています。現時点では実験レベルのため、これらのテーブルや  
 システムを使用した**外部システム(連携システム)**の制作は、ご遠慮ください。

SHTコマンド廃止、LPSコマンド廃止、  
 製造予実テーブル(T\_Morder)廃止、タイムラプス履歴テーブル(T\_TimeLapseHist)廃止

- ⑦ C:\%euromap%\server 以下に、2つの jar 形式のファイル(だけ)になっているか確認してください。 (改定)  
 euromap63\_1.4.2.jar ※ バージョン番号は、異なっているかもしれません。  
 fukurou7.0.7.1.jar